

## Chrome Book の使用規定 (生徒用資料)

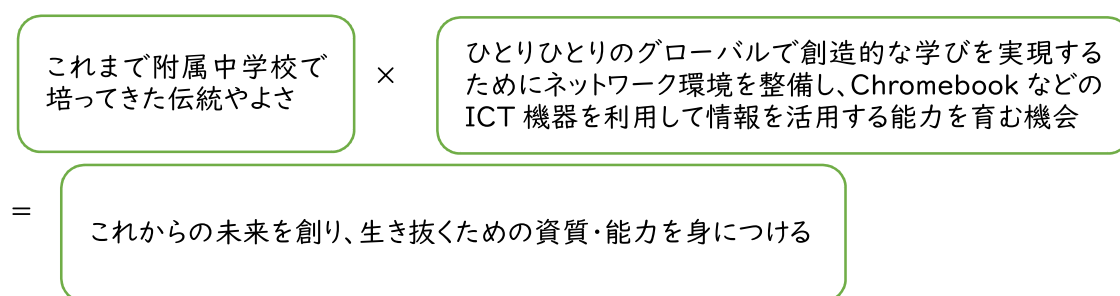
### 1 はじめに

私たちの生活の中に ICT が浸透し、スマートフォンなどの端末を用いて様々な手続きを行うなど欠かせない道具となりつつあります。わたしたちが活躍する未来において、ますます ICT があたりまえのものになっているであろうと予想されます。そのような時代において生活の基盤となるのが、ICT 機器が目的達成の手段の一つであることを理解し、正しく利用できることです。GIGA スクール構想というのは、自分の将来を切り拓くための入口が提供されるということです。「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」「学んだことをどう活かすのか」をわたしたちで考えていきましょう。

### 2 「附中×GIGA」の取組についての説明

#### 【「附中×GIGA」に込めた思い】

かけ算では、どちらも正でなければ正になりません。ひとりひとりが正しく使うことでより良い効果を生みたいという願いを込めています。



#### 【情報を活用する能力 (仮) ※これから附中生にとって必要な資質・能力を】

端末を使うこと自体を目的とせず、ICT の良さを理解して自分の生活リズムの中に取り入れることができる

A 情報活用の実践力	B 情報に関する科学的な理解	C 情報社会に参画する態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT の基本的な操作方法がわかる</li> <li>情報を根拠として話し合うことができる</li> <li>課題や目的に合わせて情報を集めたり、整理したりする</li> <li>受け手の状況を考えて伝える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい情報を読み取る</li> <li>情報を正しく扱ったり、評価・改善したりするためのプログラミング的思考を身につける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラルを身につけ、発信する情報に関して責任を持つ</li> <li>新しいこと(情報社会の創造)に挑戦しようとする</li> </ul>

#### 【ICT 活用の心構え】

可能な限り制限を取り除いた中でも ICT を正しく、より良く利用するスキルと態度を磨きつづける

#### ① 情報モラルについて正しく理解する (ICT 端末を扱う者としての態度=自己責任を自覚した行動)

「できる」からやって良いではない。「できない」からやってはいけないではない。⇒「する」か「しないか」が大事

#### ② 目的に合う正しい活用をする (誘惑に負けて手遊びの道具にしない)

学習道具として正しく使うことは、文房具などと同じです。

#### ③ 自分を正しくコントロールする

普段の生活でしないような書き込みは、当然クラウド上でもしません。

「ダメなことはダメなんです。」  
ICT 機器を有効に使える人になろう。

3 端末貸与について（使用する私たちには、将来への責任があります。）

①端末は大分大学から使用者に貸与されたもので、使用者の卒業後、次の新生が使用することになりますので、使用時のみならず、持ち運びのときも丁寧・適切な取り扱いを行います。

⇒貸与された学習道具という認識のもと、壁紙等の設定を変更しないようにしてください。

⇒保存については、各自のアカウントにある Google ドライブに保存するようにしてください。

⇒キーボードやディスプレイを意味もなく雑に打っている生徒を見かけます。やめてください。

⇒学習のために使用を許可されたクラウドサービスおよびブラウザアプリ以外は使用しません。

※不適切なサイトにアクセスしないようにしてください。

②公序良俗に反すること、貸出・転売等の違法行為はもとより、生活のリズムを崩すような使用はしません。

③各校園より使用を許可されたクラウドサービスおよびアプリケーションだけを使い、各校園の教育活動に係る学習目的以外には使用をしません。

④各校園で定めた「端末利用の留意事項」や教員の指示を守り、学習内容の理解を深められるように正しく使用します

⇒前述にある「心構え」を理解し、目的に合った正しい使い方の習得をめざします。

⇒Chromebook には、多様な機能があります。エチケットとマナーを意識し、正しく利用しましょう。

ルールの抜け道をねらった使い方をしたり、知識を悪用したりするのはやめてください。

⇒学校では、原則教員の管理の下で使用します。

※将来、家庭の端末とほぼ同じセキュリティー状態でも正しく利用できることが「附中×GIGA」のめざす生徒の姿です。

⑤故障・破損・紛失等の事由が生じた場合には、速やかに学校に届け出を行い、学校の指示に従います。

※盗難の場合は警察に届け出をし、その証明を受けてください。

※使用者に重大な過失があった場合は、弁償及び修理費の負担をしていただく場合があります。

⑥家庭に持ち帰り、端末を利用する場合は保護者の責任の下で使用し、以下の点に留意します。

・インターネットに接続する場合は自宅で契約している Wi-Fi に接続します。（コンビニ等のフリーWi-Fi への接続はしません。）

・充電については各家庭で行います。

⇒生徒が申し出る不具合の中には、Chromebook の設定を変更したことによるものが原因であることが多数あります。原因調査に多大な時間を浪費しますのでデフォルトの状態で使用してください。

⇒自然に使っていて少しでも異変を感じたらすぐに各学年の ICT 担当職員に申し出てください。メーカー保証期間の都合です。

⇒フリーWi-Fi に接続しないのは、クラウドの安全安心な管理のためです。主旨を理解いただき、学校または自宅以外の場所で使用するのを控えてください。

4 アカウントの扱いについて

各種サービスを利用するために大学よりアカウントを発行しています。ID およびパスワードは適切に管理してください。第三者に見せないようにします。 ※与えられたパスワードは、変更しないでください。

アカウントはその人だけの権利であり、他者のアカウントにログインした時点で「不正アクセス」となり法律違反となります。絶対にしてはいけません。ただし附中 ICT 管理権限者が保守点検・動作確認のために生徒アカウントにログインし、操作を行うことがあります。

【Chromebook 以外で利用可能なアプリケーション（R3.6現在）】

①デジタル教科書（英・数） ②すららドリル ③あしたね（2年生） ④技術で使うプログラミング用アプリ

不正アクセス禁止法（罰則）

第十一条 規定に違反した者は、三年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処する。

## 5 端末・インターネットの特性と個人情報の扱いについて

自分にとって危険な行動や他人に迷惑をかける行動をしないように、端末やインターネットの特性と個人情報の扱い方を正しく理解しながら使用することが重要です。

(例) 本人の許可を得ることなく写真を撮ったり、録音・録画したりしません。

他人を傷つけたり、嫌な思いをさせることを、ネット上に書き込みません。

情報を安易に信じ、あたかも真実であるかのように拡散するような行為はしません。 等

※インターネット上は特別ではありません。日常生活でしてはならないことはしません。(ダメなことはダメです。)

※ネットトラブルを起こさないように細心の注意をはらいましょう。

## 6 健康への配慮について

以下の留意点について、自らの健康について自覚を持ち、時間を決めて遠くを見て目を休めたり、意識的に時々まばたきしたりするなど、リテラシーとして習得しましょう。

### 【全般】

- ・良い姿勢を保ち、目と端末の画面との距離を 30cm 以上離す(目と画面の距離は長ければ長い方が良い)
- ・30 分に 1 回は、20 秒以上、画面から目を離して遠くを見て目を休める
- ・画面の反射や画面への映り込みを防止するため画面の角度等を調整する
- ・部屋の明るさに合わせて端末の画面の明るさを調整する

### 【家庭】

- ・就寝 1 時間前からは ICT 機器の利用を控える
- ・家庭において、利用時間等のルールを定める

## 7 付属品の扱いについて

CB を円滑に使用するために以下のものについて使用を許可します。自己管理をしてください。ただし使用目的が異なる場合不要物の持ち込みとみなされますので注意してください。

【各自で準備するもの】マウス、タッチペン(使用できないものもあるので注意)、イヤフォン

【今後家庭で必要になる可能性があるもの】CB を充電するための USB ケーブル(typeC)

## 8 緊急事態等でリモート授業を行う場合について

○学校から指定された時間に指定された方法でアクセスをします。(各 classroom > Meet )

○制服を着用します。(身だしなみは学校と同じルールで)

○接続しない携帯電話・スマホ・タブレット等の不要物を授業中に扱いません。※手元に置かない。

○勝手な発言をしません。※基本的にはミュートにする。発言をする場合のみミュートを解除する。

○なにか不具合があった場合にはホスト(先生)へチャットで知らせます。

○通信障害でミーティングから退出してしまった場合は、接続をし直します。

○背景に注意します。※映り込みに注意する。また必要に応じてイヤフォンやマイクを使用する。

Meet 上で背景を変えないようにします。

○授業に集中して取り組めるように環境を整えます。

※トラブルや不具合等に関する連絡先については、その都度ご連絡します。(さくらメール等を利用)

9 一日の流れ(※随時変更します)

朝登校時	(学年部の先生がキャビネットの解錠する)キャビネットからCBをとります。 ログインをする。
朝自習	必要に応じて使用することもあります。その際には、先生の指示に従います。 ※AIドリルに取り組むときなど
朝の会	現在使用することはありません。 【今後の予定】本日の日程や連絡事項、生徒会の連絡などを classroom で確認することなどに使用できたらいいと考えています。
1～6限	学習道具としていつでも使えるように準備しておきます。 ※活用については授業者の指示にしたがいます。 ※勝手な操作は、手遊びと同じとみなされ指導を受けます。 【使用上のマナー】 Chromebook に不要な負荷をかける扱いは控えて下さい。 ・ブラウザ画面に上に関係ないタグが並んでいる生徒が多く見られます。ずっとアクセスしている状態と同じですので、授業に関わりないタグは閉じましょう。 タグ等を開き続けることは、デスク上が散らかっているのと同じです。 ・Chromebook 上に複数のデスクをつくらないようにしてください。 ・Wi-Fi の入りが悪いときは、授業を受ける教室で再起動をしましょう。 ログアウトでは効果がありません。 【今後の予定】ランチャーにあるコメントに「授業に参加する」を表示させたあとに classroom に入る授業で効果的に活用する方法を検討しています。
昼休み	原則活用を控えます。(健康への配慮等の観点より) ただし、学習や生徒会活動など必要に応じて利用する場合があります。 必ず担任の許可を申し出るようにしましょう。
帰りの会后	キャビネットにCBを返却し、充電コードを差します。(左側のコードを使用) 学年部の先生が担任キャビネットの施錠をします。
放課後	※専門委員会や部活動で使用する場合は、担任に許可を申し出ます。 ※自宅に持ち帰る場合も担任に許可を申し出ます。
自宅	自宅で契約しているWi-Fiに接続し、課題等を済ませます。 自宅以外の場所で使用しないようにしてください。(フリーWi-Fiへの接続禁止)

10 仕様について

様々な教育コンテンツを柔軟に使用するために、各種クラウドサービスを利用いたします。使用するクラウドサービスは以下の通りとし、「学習成果物」等もクラウド上で安全に管理されます。

○使用クラウドサービス

- ・プラットフォーム Google Workspace( G suite for Education )  
閲覧ブラウザ ドキュメント スプレッドシート **classroom** Googleドライブ GoogleKeep等  
※Googleアプリの一部は、フィルタリングによって使用できないものもあります。

- ・導入アプリ すらら AIドリル 5月中旬以降開始  
デジタル教科書(数学、英語) 等

※個人的にアプリをインストールことはできません。